



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地 TEL097-546-7111(代表) 内線7407:県病ニュース係
※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ホームページまたは、1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

看護部

県病専門看護師のご紹介

～患者さんへのよりよい医療の提供を目指して～

大分県立病院には、専門領域の研修を受けて高度な知識や技術を身につけた各種の県病専門看護師がいます。県病専門看護師は、その専門性を基にスタッフへの教育や患者さんのお手伝いを行い、よりよい看護の提供ができることを目指しています。当院には現在、6名の県病専門看護師がいます。今回は、県病専門看護師の活動についてご紹介します。



医療安全県病専門看護師:

後藤 紀代美

患者さんへ安全な医療を提供するための意識や知識・技術の向上に向けて、スタッフへの教育や医療事故防止のための対策の検討を行っています。

接遇県病専門看護師:

河野 伸子

患者さんやご家族の皆様へのおもてなしがよりご満足いただけるものとなるよう、ご意見・ご相談への対応やスタッフの教育を行っています。

栄養管理県病専門看護師:

村上 博美

患者さんの栄養状態の改善や、自分でものを飲み込む力の回復に向けて、スタッフへの教育や栄養サポートチーム(NST)での活動を行っています。

糖尿病看護県病専門看護師:

中西 美子

糖尿病患者さんへの教育や在宅支援の充実を目指し、外来での療養指導やスタッフへの糖尿病療養指導士(CDE)の資格取得の促進を行っています。

フォーカスチャートニング県病専門看護師:

田中 雅代、久土地 晶代

当院が看護記録の形式としているフォーカスチャートニングの知識や看護記録の質的向上をめざし、スタッフ教育や記録の整備を行っています。



県病専門看護師シリーズ

その1

フォーカスチャータリング県病専門看護師

看護記録の役割とは

医療は日進月歩を繰り返しながら大きく変化しています。そしてこの変化に適切に対応した医療・看護の提供が求められています。提供した医療・看護の内容を証明する手段として「記録」が重要なのです。

大分県立病院では、看護記録に関する高度な知識を専門的に学んだスタッフを看護記録についての県病専門看護師とし、当院で採用しているフォーカスチャータリングという看護記録形式に由来して、フォーカスチャータリング県病専門看護師と呼んでいます。

以下、看護記録の役割についてご紹介します。



－看護記録の役割－



① 個別的ケアの提供とケアの質向上

看護師は、患者さんの病状や入院生活の希望に沿った個別的な看護計画を立案し、この計画に沿ったケアを行っています。記録には、単なる医学的なデータだけでなく、個別の看護支援の内容、患者さんやご家族の思いについても重要な事項として記載しています。

② チーム医療におけるコミュニケーションの手段

医師、看護師、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなど、さまざまな専門分野のスタッフが患者さんに関わっています。スタッフそれぞれが患者さんとの関わりで得られるさまざまなことを記録に残し、医療チームで詳細な情報を共有しています。

③ 地域連携のための情報ツール

他の医療機関へ転院したり、入所施設に戻ったりする患者さんには、入院中の経過や継続してほしいケアなどについて記載した情報用紙(看護サマリ)を作成してケアの引き継ぎを行っています。

このように、看護記録を適切に残すことは医療技術を支える重要な仕事なのです。

(フォーカスチャータリング県病専門看護師 田中雅代、久土地晶代)